



笠小だより

学校教育目標 ○学ぶ ○ふれあう ○きたえる

学 校 だ よ り N o 7

令 和 3 年 1 1 月 1 日

鴻 巣 市 立 笠 原 小 学 校

T E L 5 4 1 - 1 6 6 1



豊かな体験活動！

校 長 林 義 典

校庭の木々も赤や黄色に紅葉し、秋真っ盛りとなりました。敷地内外に自然がいっぱいの本校では、日常生活の中に秋を楽しむことができ、大変有り難いことだと思っております。台風一過の10月2日（土）に実施されました資源回収では、多数の保護者、地域の皆様にお世話になりました。笠原小学校として最後ということでこれまで以上にたくさんのご協力をいただき感謝申し上げます。この資源回収の収益金につきましては、残り5ヶ月となりました本校での教育活動の充実のため大切にに使わせていただきます。

さて、台風の影響で延期となっていた5年生の林間学校ですが、無事10月10日（日）、11日（月）の一泊二日、10名全員参加で実施することができました。この行事も、来年度の鴻巣中央小学校との統合に向けての交流活動の一つとして位置づけ、事前の準備や練習を進めました。そして、当日のカレーづくり、キャンプファイヤー、芋掘り、竹細工づくり、川遊びなど様々な体験活動を、鴻巣中央小学校5年生81名と合同で行いました。帰校後の子供たちの充実した表情と感想などから、秩父の大自然を十分に満喫するとともに、来年度4月から統合された学校を最高学年としてリードする仲間という意識を高めることができました。

また、過日、NPO法人パラキャンの方々に来校いただき、全学年の子供たちが参加し「鴻巣市パラリンピックキャラバン障がい者スポーツ体験講座」を開催していただきました。3名のパラアスリートの方に、ご自身の障がいや障がい者スポーツを始めたきっかけ、さらに、車椅子バスケット、車椅子ラグビー、車椅子テニスなどの障がい者スポーツについてのお話をいただくとともに、実際に、競技用の車椅子に乗ってリレーをしたり、バスケットボールのゲームをしたりと大変貴重な体験をさせていただきました。そして、最後のまとめのお話の中で、本講座の司会でこの法人の事務局長である中山さんから

「できないことを数えるよりも、できることを数えよう」

という大変前向きで思いのこもった言葉をいただき、講座終了となりました。この体験活動を通して、多くの子供たちも感じたのではないかと思います。「パラアスリートの方々がとにかく明るく前向きだな」ということを私自身、強く感じました。障がいのある方への見方がかわるとともに、生きることの意味や物事の捉え方や考え方も「前向きに」と後押しされたようにも感じました。

笠原小学校残り5ヶ月、「前向きに」自分自身で「やってみる」という体験活動を授業や行事においても充実させていきたいと思っております。